9910MR871HA5902

MITSUBISHI

三菱 高気密高断熱 住宅用 換気暖房ユニット(天吊カセットタイプ)

形　名

VL-500HR

取扱説明書

お客さま用

もくじ

お使いになる前に

使いかた

お手入れ・困ったとき

次のようなマークで必要な情報を示しています。

お願い　正しく使っていただくための情報です。

メモ　より便利にご使用いただくための情報です。

細部の機能説明です。

参照ページを示します。

●お客さまご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

●正しく安全にお使いいただくためにこの説明書及びボイラの取扱説明書を必ずお読みください。なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。

この説明書は同封の保証書・「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（家電品）」とともに大切に保存し、必要な時にお読みください。保証書は「お買上げ日・施工工事店名」などの記入を確かめてお受け取りください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（家電品）」とともに保管してください。

換気暖房システムの特長

三菱換気暖房システムVL-500HRは、ボイラ、断熱ホースなどを組み合わせて使用します。

……6ページ

このシステムは、これまでの暖房システムと異なり、各階ごとに暖気暖房システムを設置する考え方に基づいて創りだされた新しい空調(暖房)システムです。
24時間、365日運転(暖房期間以外は換気のみ)を基本としていますので、ゆったりとした空気の流れがお部屋のすみずみまで循環し、一年を通じて快適な環境をつくりだします。

換　気

住宅全体の計画換気ができます。

- ●換気した空気を暖房して各お部屋に届けるので、家中を新鮮な空気で満たします。
- ●外気を取り入れるとき、エアーフィルターでホコリ、花粉をシャットアウトするので、お部屋の空気はクリーンです。

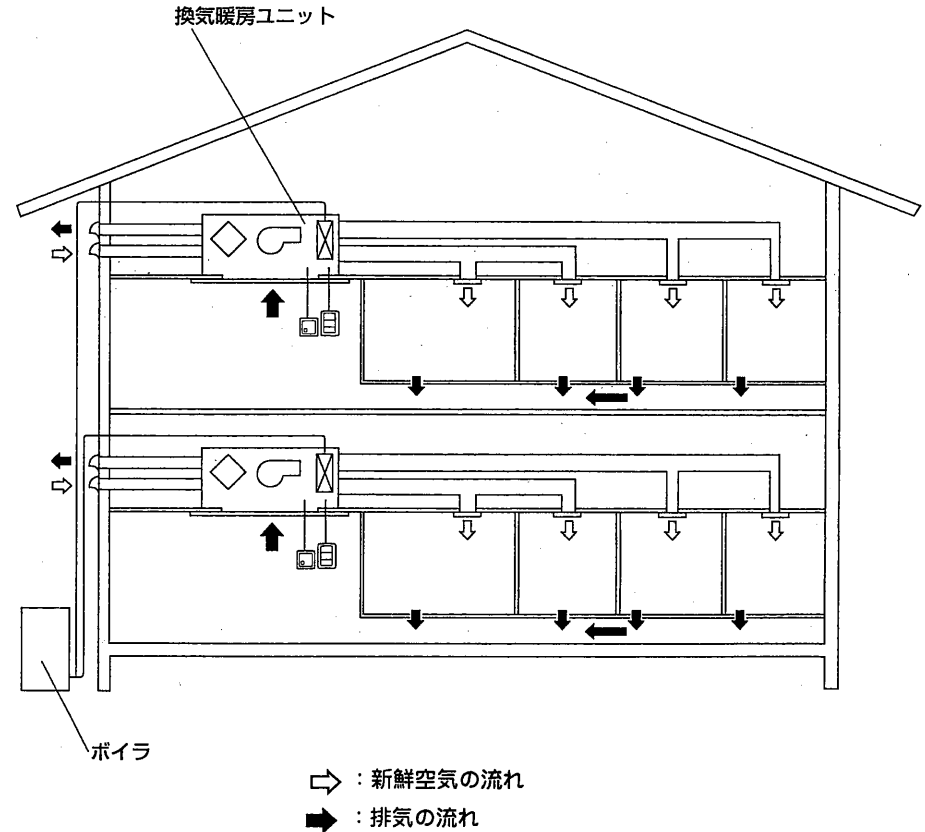
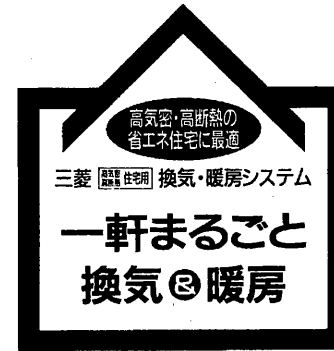
快　適

空調の低風速・小風量を実現

- ●お部屋にある吹出グリルからは、低風速・小風量・小音量で換気暖房を行います。風当り感、運転音をほとんど感じません。
- ●空調された新鮮空気を住宅のすみずみまで満たすので、快適で健康的な空間をつくります。

省エネ・省スペース

省エネ・省スペースを実現

- ●全熱交換器ロスナイを用いた換気で、室内の温度を逃がさずに省エネ換気を行います。
- ●お部屋には吹出グリルとコントロールスイッチがあるだけでインテリアもすっきりです。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

● 図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁止　分解禁止　指示に従い必ず行う……この図記号は行動を強制する意味を表わします。

⚠ 警告

可燃性ガスが漏れた場合はコントロールスイッチを入・切しない。

電気接点の火花により爆発する原因になります。

禁止

吸込パネルに指や棒を入れない。

ファンが高速で回っており、けがの原因になります。

禁止

転居時もお客さま自身で据付けしない。

火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
施工はお買上げの販売店または専門の工事店にご相談ください。

禁止

灯油ボイラにガソリンなど揮発性の高い油は使用しない。

火災の原因になります。

ガソリン厳禁

分解・改造はしない
修理技術者以外の人は分解・修理をしない。

火災・感電・けがの原因になります。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

分解禁止

吸込パネルをあけるときは、必ず運転を停止する。

運転中はファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

指示に従い必ず行う

お手入れの際は必ず分電盤ブレーカーを切ってから行う。

感電やけがをすることがあります。

指示に従い必ず行う

燃焼機器を使用する部屋はこまめに換気する。

酸欠状態になる恐れがあります。窓を開ける等、空気を入れ換えてください。

指示に従い必ず行う

異常時(こげ臭いなど)は運転を停止してブレーカーを切る。

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。修理を依頼してください。

指示に従い必ず行う

⚠ 注意

吸込グリルの着脱・清掃のときは不安定な台に乗らない。

転倒などによりけがの原因になることがあります。

禁止

吸込パネルを水洗いしない。

ユニット内に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります。

禁止

濡れた手でスイッチを操作しない。

感電の原因になることがあります。

禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない。

不完全燃焼の原因になることがあります。

禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹き付けない。

火災・変形の原因になることがあります。

禁止

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う。

落下によりけがをすることがあります。

指示に従い必ず行う

お手入れの際は必ず手袋を着用して行う。

けがをすることがあります。

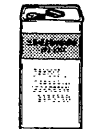
指示に従い必ず行う

長期間使用しないときは分電盤ブレーカーを切る。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。

指示に従い必ず行う

吸込パネルの落下防止用ひもは必ずつける。

落下によるけがの原因になることがあります。

指示に従い必ず行う

安全のためのお願い

防錆循環液の補充・強化剤の添加・交換をしてください。

ボイラの防錆循環液は、1シーズンに1回～2回水位を確認してください。また2年に1回強化剤の添加、4年に1回交換が必要です。
お買上げの販売店に依頼してください。

激しい雷のときは、ブレーカーを切ってください。

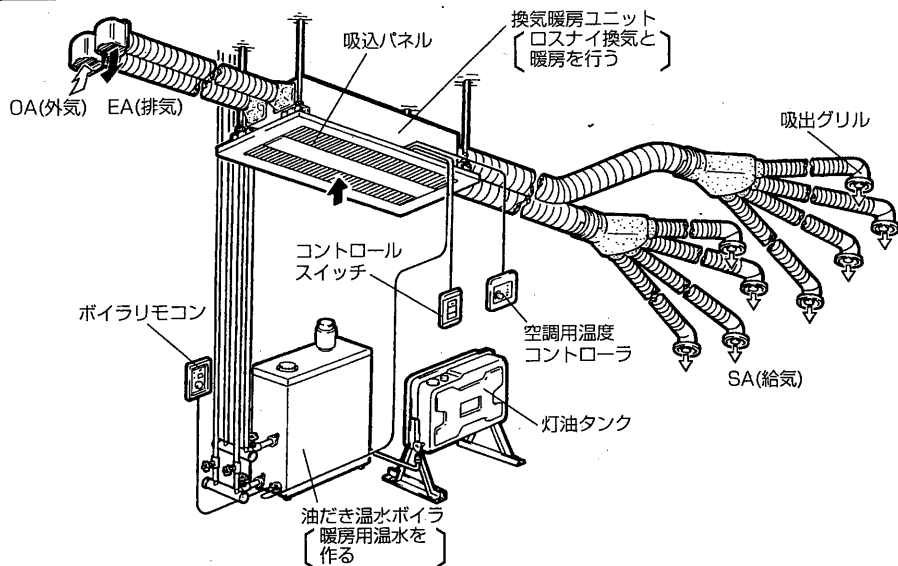
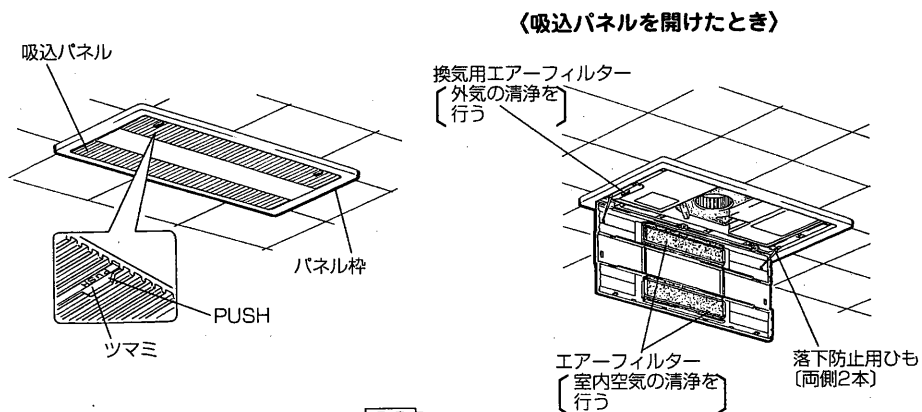
落雷による製品の損傷を防止できます。

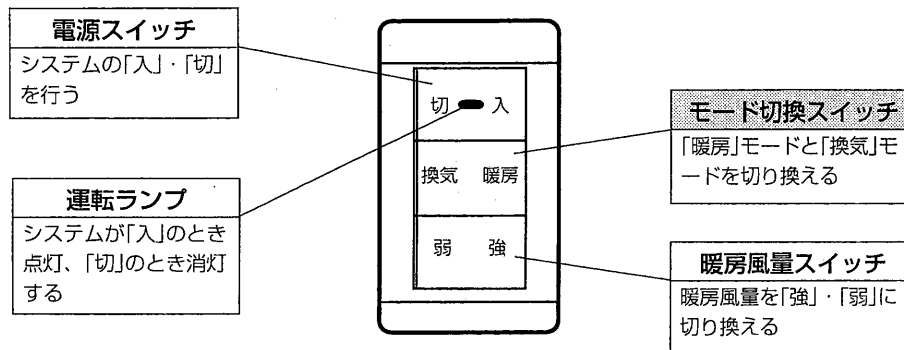
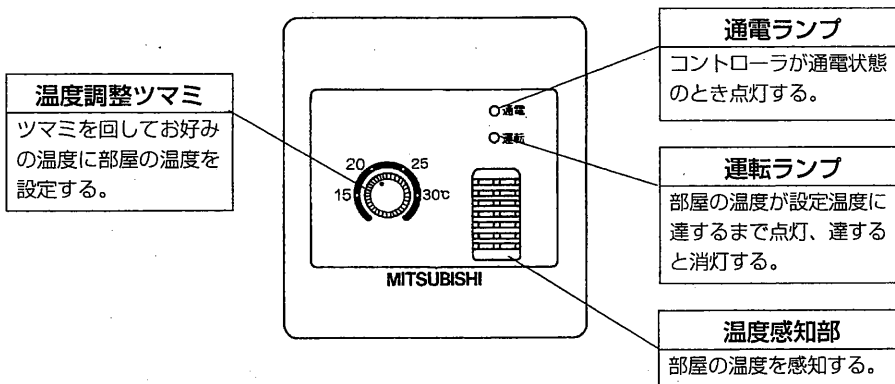
当社純正の防錆循環液をご使用ください。

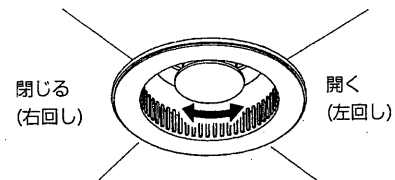
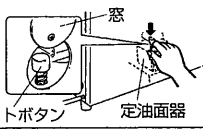
故障の原因となります。

VPZ-10GX

各部のなまえとはたらき

システム例 …暖房と換気を同時に行うシステムです。

吸込パネル(P-500GT) …室内空気を吸込みます。

※「PUSH」部を押して開けます。… 12 ページ

コントロールスイッチ …「入」・「切」、「換気」・「暖房」と「強」・「弱」を切換えます。

空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2) …室温を調節します。

吹出グリル(P-07GLC) …お部屋に空気を送ります。

※グリルを回転させることで風量の調整ができます。… 9 ページ

使用前の準備

1. 分電盤ブレーカーを「入」にします。

2. ボイラの準備をします。(下表を参照ください)

●詳しくは、ボイラの取扱説明書「使用前の準備」をお読みください。当社製以外のボイラを使用する場合は、そのボイラの取扱説明書をお読みください。

ボイラの準備

1	**燃料**	必ずJIS1号灯油を使用する。 **⚠警告** **●ガソリンは絶対に使用しない。**
2	**給油**	油タンクに灯油を入れる。
3	**油タンクの準備**	送油バルブ、フィルター付きコックを開く。
4	**定油面器のセット**	定油面器のリセットボタンを押す。（図：窓／リセットボタン／定油面器）
5	**防錆循環液の水位確認**	(VKH-80・110・150Kシリーズの場合) 水位窓から防錆循環液が満水レベル位置まで入っているか確認する。 **●必ず当社純正の防錆循環液(VPZ-10GX)で補充してください。** （図：給水口から確認／給水口／満水レベル位置(突起部)）
6	**給排気筒の接続確認**	(屋内用強制給排気形の場合) 給気ホース、排気筒が正しく接続されているか確認する。
7	**可燃物の除去**	ボイラの周辺、給排気筒周辺の可燃物を取り除く。可燃物は置かない。
8	**油漏れの確認**	ボイラから油漏れがないか確認する。 (油漏れしている場合はコックを閉じ、必ず施工工事店またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」に修理を依頼してください)
9	**防錆循環液漏れの確認**	ボイラや換気暖房ユニット温水配管部から防錆循環液が漏れていないか確認する (液が漏れている場合は温水配管のバルブを閉じ、必ずお買い上げの施工工事店またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」に修理を依頼してください)
10	**ボイラリモコンの設定**	ボイラリモコンの電源スイッチを「切」にする。 換気暖房ユニットからボイラに運転信号を送りますので、必ず「切」にする
11	**電源プラグの差し込み**	準備・確認が終わってから電源プラグの差し込みを行う。

使いかた

上手な使いかた

このシステムは、24時間運転を基本としています。

換気・暖房いずれかのモードで常に運転をしてください。

●高気密・高断熱住宅は「自然換気量が少ない」・「部屋を暖めるのに時間がかかる」という特性があります。これらに対応するため、常に運転してください。

●暖房を必要としない時期でも、必ず換気運転をしてください。

●暖房運転の開始直後は温風はでません。ボイラの予熱時間(約10分)が必要です。早めに暖房運転しましょう。

使いかたのポイント

暖房しすぎに注意しましょう。

●暖房時の室温の目安は20℃です。ちょっとした心がけで経済的にご使用になれます。

お部屋が乾燥するとき。

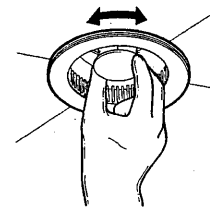
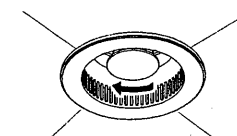
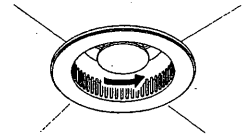
●風量を「弱」で運転します。それでも乾燥するときは、市販の加湿器をご使用ください。

お部屋が暑くなりすぎるとき。

●コントロールスイッチで風量を「弱」にしたり、空調用コントローラの温度調整ツマミで設定温度を低くしたりします。

●それでも暑くなるときは、吹出グリルで風量を調整します。

吹出グリルの風量調整方法

図のようにグリルを持つ。

右へ回すと、風量が少なくなる。

左へ回すと、風量が多くなる。

⚠注意

●調整のとき、不安定な台に乗らない。

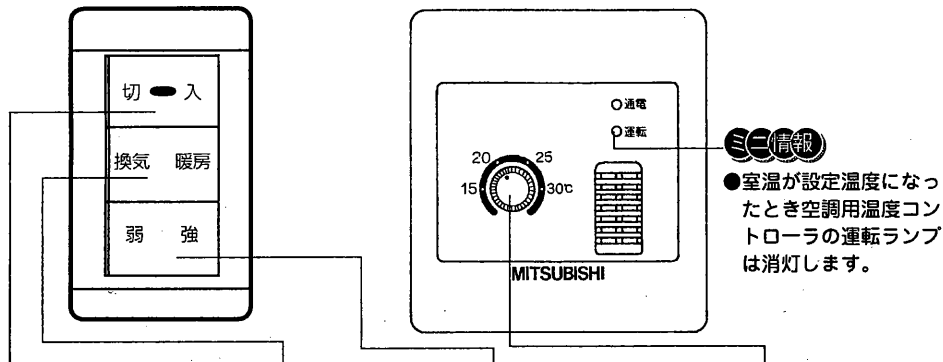
(転倒などによりけがの原因になります)

使いかた　つづき

暖房のしかた

……ロスナイ換気をしながら暖房運転を行います。

（メモ）
●設定温度は目安です。お部屋の温度とは必ずしも一致しません。

コントロールスイッチ　　空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2)

ミニ情報
●室温が設定温度になったとき空調用温度コントローラの運転ランプは消灯します。

1　運転開始・停止

開始するとき
コントロールスイッチの電源を
「入」

●電源ランプが点灯、換気暖房ユニットが換気運転を開始

停止するとき
コントロールスイッチの電源を
「切」
●電源ランプが消灯、換気暖房ユニットが運転を停止

2　暖房運転

暖房するとき
コントロールスイッチのモード切換を
「暖房」

●ボイラが運転を始める

ミニ情報
●暖房運転の開始直後は、すぐに温風はでません。

3　風量の設定

風量を変えるとき
コントロールスイッチの暖房風量を
「強」または**「弱」**

●換気暖房ユニットの風量がかわります。

ミニ情報
●室温が設定温度になると「強」・「弱」に関係なく換気暖房ユニットは「弱」運転になります。

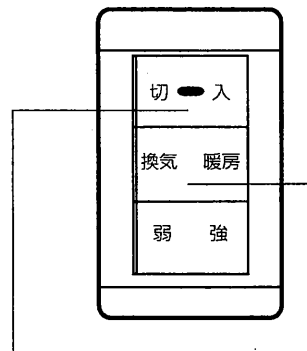
4　温度設定

温度設定をあげるとき
空調用温度コントローラの温度調整ツマミを
「右」

温度設定をさげるとき
空調用温度コントローラの温度調整ツマミを
「左」

換気のしかた

……暖房を必要としないときロスナイ換気をします。

コントロールスイッチ

空調用温度コントローラ(P-03CTU-DS2)
使用しません。

1　運転開始・停止

開始するとき
コントロールスイッチの電源を
「入」

●電源ランプが点灯、換気暖房ユニットが換気運転を開始

停止するとき
コントロールスイッチの電源を
「切」
●すべての運転が停止

2　換気運転

換気するとき
コントロールスイッチのモード切換を
「換気」

●換気暖房ユニットが「弱」運転を始めます。

ミニ情報
●コントロールスイッチの暖房風量を「強」・「弱」どちらにしても、換気運転中は「弱」運転をします。

●空調用温度コントローラの温度調整ツマミの位置により、運転ランプが点灯することがありますが換気運転中暖房運転にはなりません。

お手入れ

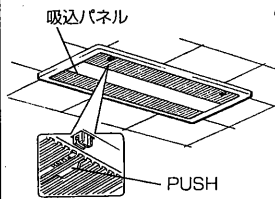
お手入れの前に

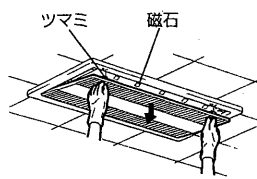
●運転を停止し分電盤ブレーカーを「切」にします。

⚠警告

●お手入れの際は必ず、分電盤ブレーカーを切ってから行う。(感電やけがをすることがあります)

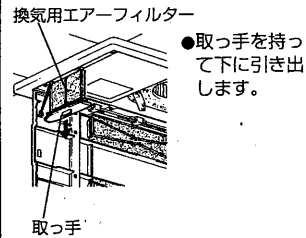
吸込パネルの開けかた

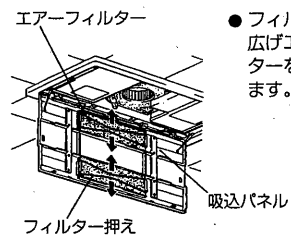
1 PUSHを押す 。

●PUSHを押すとカチッと音がしてロックが解除します。

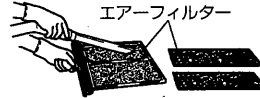
2 ツマミを持って下に引く。

●ロックが解除しても、磁石で固定されています。ツマミを持って下へ引きます。

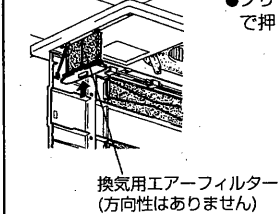
エアーフィルターの清掃

…1か月に1回以上を目安に清掃を行う。

1 換気用エアーフィルターをはずす。

●取っ手を持って下に引き出します。

2 吸込パネルからエアーフィルターを取りはずす。

●フィルター押えを広げエアーフィルターを取りはずします。

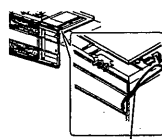
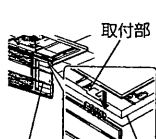
3 エアーフィルターの清掃

お願い

●絶対にもみ洗いはしないでください。
●熱湯・薬品・溶剤をかけないでください。(破損の原因になります)

●ホコリを掃除機で吸い取ります。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で押し洗いをします。
●水洗いをした後、日陰でよく乾かします。

吸込パネルの清掃

…パネル部分を取りはずして清掃する。

★パネル部分の取りはずしかた

1 落下防止用ひもを取りはずす。

●吸込パネルを開けて落下防止ひもを取りはずします。

2 吸込パネルを取りはずす。

●パネルを少し持ち上げ、手前に引き取付部(5か所)からパネルを取りはずします。

★清掃のしかた

3 吸込パネルの清掃

●水をしぼった柔らかい布で軽くふきます。
●水分をよくふきとって陰干しします。
●中性洗剤を使用するときは、洗剤が残らないよう、よく水ぶきをします。

お願い

●タワシやスポンジの硬い面などで洗わないでください。(傷が付きます)
●水や温水につけおきしないでください。
●パネル部分の裏面にある金属部分を洗わないでください。
●直射日光やストーブなどで乾燥させない出ください。(変形・変色の原因になります)

⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する。(着用しないとけがをすることがあります)
●吸込パネルの着脱・清掃のとき不安定な台に乗らない。(けがの原因になります)

熱交換器のお手入れ

●定期的(約5年ごと)に専門家による清掃が必要です。メンテナンス契約をお願いします。

お願い

●シーズンに1～2回ボイラの点検を行ってください。防錆循環液は少しずつ蒸発しますボイラの水位レベルを確認して液の補充をしてください。
●詳しくはボイラの取扱説明書をお読みください。

吸込パネルの閉めかた

1 吸込パネルを閉める。磁石により仮固定される。

お願い

●落下防止用ひもがはみ出ないように閉じてください。

2 PUSHを押す。

●カチッと音がするまで押します。

お願い

●両端のツマミを下に引いて、しっかりしまっていることを確認してください。

4 換気用エアーフィルターを取付ける。

●クリック感があるまで押し込みます。

5 吸込パネルにエアーフィルターを取付ける。

●取りはずしと逆の順に、フィルター押えを取付けます。
●フィルターには方向性がありません。どちらでも取付けられます。

お願い

●フィルター押えがみぞにはまっているか確認してください。

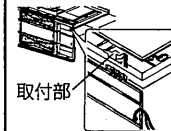
4 パネル枠の清掃

●柔らかい布でからぶきをします。

⚠注意

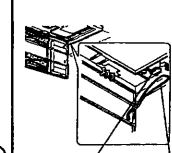
●パネル枠は水拭きしない。(ユニットの内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります)

★パネル部分の取付けかた〔取付後、吸込パネルを閉める〕

5 パネルの取付け。

●パネルを持ち上げ、取付部(5か所)にパネル枠を引っ掛けます。

お願い

●5か所ともしっかり引っ掛かっているか確認します。(不十分な引っ掛かりのまま吸込パネルを閉じると破損の原因になります)

6 吸込パネルの落下防止用ひもを取付ける。(2か所)

●取りはずしと逆の順に、落下防止用ひもを引掛部に引っ掛けます。

お手入れ・困ったとき

故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

■換気暖房ユニット

このようなときには	原　　因
運転しないとき。	●停電ではありませんか？ ●分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか？ ●コントロールスイッチが「切」になっていませんか？
よく暖まらない。	●ドアや窓が開いていませんか？ ●エアーフィルターにホコリやゴミが詰まっていませんか？ ●室温調整が適正な温度になっていますか？ ●吹出グリルが障害物でふさがれていませんか？ ●吸込パネルが障害物でふさがれていませんか？
風がいつもより少ない。	●エアーフィルターが汚れていませんか？清掃してください。

■空調用温度コントローラ

このようなときには	原　　因
通電ランプが点灯しない。	●停電ではありませんか？ ●分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか？
暖房のとき寒く感じても運転ランプが点灯せず空調が働かない。	●部屋の温度より設定温度が低くなっていませんか？

以上のことを調べても直らないときは、使用を中止し必ず分電盤ブレーカーを「切」にしてから施工事店に修理依頼または、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（連絡先は同封の一覧表参照）へご相談ください。

次のような現象は故障ではありません

	このようなときには	原　　因
暖房時	運転直後に吹出グリルから冷風がでる	●ボイラのヒートアップに時間が必要です。換気暖房ユニットに温水が送られ温風がでるまで、しばらくおまちください。
暖房時	ボイラの運転が停止した。	●ボイラの防錆循環液が不足していませんか？ ●油だきボイラご使用の場合、油タンクの灯油が空ではありませんか？ ●ガスボイラご使用の場合、ガスの供給が止まっていませんか？ ●部屋の温度が設定温度より高いときは、ボイラは停止します。
暖房時	部屋が乾燥する。	●暖房風量スイッチ「弱」にしてご使用ください。それでも乾燥する場合は、市販の加湿器をご使用ください。

保証とアフターサービス

「換気暖房ユニット」のアフターサービスは、施工工事店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（取扱説明書に同封）にお問い合わせください。

サービスを依頼される前に

………14ページ

取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は………

この換気暖房ユニットには保証書を別途添付しています。
施工工事店にご連絡ください。保証書の規定に従って施工工事店が対応します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●現象………できるだけ詳しく
- ●形名………VL-500HR
- ●訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは………

施工工事店に、まずご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

■当社はこの「**換気暖房ユニット**」の補修用**性能部品**の製造打ち切り後、最低9年間まで保有しています。**性能部品**とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　名	VL-500HR			
電　源	単相100V　50/60Hz			
システム	7.8分岐システム(吹出グリル7.8個)		6分岐システム(吹出グリル6個)	
ノッチ	強	弱	強	弱
暖房能力〈KW〉	5.23	4.03	4.65	3.84
循環風量〈m³/h〉	380	260	315	245
換気風量〈m³/h〉	75		75	
ロスナイ温度交換効率〈%〉	60		60	
消費電力〈W〉 50Hz	113	82	102	82
消費電力〈W〉 60Hz	127	88	113	88
騒音〈dB(A)〉	42	38	40	38
外形寸法〈mm〉 ユニット	高さ245×幅1000×奥行400			
外形寸法〈mm〉 吸込パネル	厚さ　15×幅1190×奥行565			
質量〈kg〉	換気暖房ユニット：23.5　　吸込パネル：3.5			

1）暖房能力は温水温度75℃、吸込空気温度20℃における値です。（測定　JIS　A4007による）
　組合わせるボイラにより変化します。
2）消費電力は、換気暖房ユニットのみの値で、ボイラ、空調用温度コントローラは含みません。
3）騒音は、反響音の少ない無響室で測定した数値です。（製品真下1.5mで定格風量時の測定）
　実際に据付けた状態で測定すると周囲の音や反響音をうけ表示値より大きくなります。

メンテナンス契約のお願い

「換気暖房ユニット」を最良の状態で性能をフルに発揮させるためには、お客さまの正しいご使用と、専門家によるメンテナンスが必要です。故障がおきてからの修理では大変な費用と時間がかかり、お客さまにご不便をおかけすることになります。メンテナンス契約をお申し込みいただくようお願い申し上げます。

●お申し込み先

施工工事店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（家電品）」（連絡先は同封の一覧表参照）

●定期点検費用

定期点検・部品交換の費用についてはお客さまにご相談申しあげます。

●定期点検の内容

項目		点検の目安	
換気暖房ユニット	モータの玉軸受	5年に1回	交換
	ロスナイエレメント	1年に1回	清掃
	熱交換器フィン	5年に1回	清掃
ボイラ	燃料系統	2年に1回	点検 清掃
	給排気系統		
	水配管系統		
	電気系統		
	防錆循環液	2年に1回 4年に1回	補充 交換
その他システムの点検		1年に1回	

愛情点検

☆長年ご使用の換気暖房ユニットの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●こげ臭いにおいがする。	▶	使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って必ず施工工事店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は施工工事店にご相談ください。

お客さまメモ		
	形名	VL-500HR
	お買上げ年月日	年　月　日
サービスを依頼されるとき便利です。	お買上げ店名（住所）（電話番号）	（　）＿＿＿＿

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111